

令和7年度(2025年度) 阿蘇教育事務所 取組の方向

「人」「もの」「こと」の豊かな阿蘇の地で、変化の激しい時代に対応し、「自らの可能性を拡げ、未来を切り拓く」児童生徒の育成を目指し、質の高い教育を推進する。

※5段階評価

基本的方向性	R7 阿蘇 6つの重点と3つの合言葉	具体的実践事項(黄色セルは特にR7年度重点的に取り組む)	「最終評価」の評価基準の目安(評定5「非常に優れて達成できた」の目安)	県及び教育事務所が対応する取組事項・参考資料	中間評価 4～9月	最終評価 4～1月
1 信頼される学校づくり	重点1: 校長の総合的なマネジメント能力向上と人材育成 ⇒ 合言葉「人材育成」	1-1 県作成テキスト等を活用した心に響く不祥事防止研修の計画的な実施	ボトムアップ研修を年10回以上実施+不祥事0	校長等会議/教頭等研修		
		1-2 教職生涯を通じて学び続ける教職員集団の育成	研修履歴を活用した「対話」に基づいた研修受講	校長等会議/教頭等研修		
		1-3 「熊本県の公立学校における働き方改革推進プラン」を踏まえた働き方改革の推進	「推進プラン」の有効活用+時間外在校時間月45時間以内の割合85%以上(県のR9目標値)	校長等会議/学校訪問・ミニ訪問		
		1-4 五者連携による地域体験(交流・ふるさと学等)活動や地域貢献活動の充実	各学校、年1回以上実施	推進員等研修		
		1-5 学校運営協議会等と児童生徒との協議の場の設定や意見・アイデアの反映	児童生徒からの提案を年1つ以上反映	推進員等研修		
		1-6 「親の学び」プログラムを活用した講座等の実施による、家庭教育支援の推進	各学校、年2回以上実施(懇談会等含む)	進行役養成講座		
2 「確かな学力」の育成	重点2: 誰一人取り残さない「授業力」の向上と結果責任 ⇒ 合言葉「授業力向上」	2-1 児童生徒を「学びの主体」とするための指導の充実	学校質問紙「自分で考えたり自分から取り組む学習活動を設定する」教員 9割以上+「阿蘇の指標」①～④ 前年から向上	研究主任研修/学力向上研修/授業力アップセミナー/スクール・アシスト/学校訪問・ミニ訪問		
		2-2 1単位の授業または学習のまとまりごとの定着確認の徹底	学校質問紙「定着確認を行い個に応じた指導の充実が図られている」教員 9割以上+「阿蘇の指標」⑤ 前年から減少	研究主任研修/学力向上研修/授業力アップセミナー/スクール・アシスト/学校訪問・ミニ訪問		
		2-3 1人1台端末を使用し、児童生徒が自分の理解度等に合わせて課題に取り組む場面の設定(個別最適な学びへ)	週3回以上の場面設定(県のR9目標値)	学校訪問・ミニ訪問		
		2-4 【英語教育】「年間指導計画」・「CAN-DOリスト」・「Small Talk集」の校内及び小中間での共有・活用	校内及び小中間でのデータの共有率100%	英語授業づくりプロジェクト		
		2-5 「第五次肥後っ子いきいき読書プラン」に基づく、目標冊数の設定や読書習慣形成の推進	全校や学年等で一斉読書を週1回以上実施	学校訪問・ミニ訪問		
		2-6 「幼児期の終わりから小学校入学への『円滑な接続』に向けたくまもとスタンダード」を活用した取組の充実(小学校)	スタートカリキュラムの見直しと連絡会の実施	学びと育ちの接続セミナー/教育指導の反省		
		2-7 キャリア教育で目指す資質・能力や態度の明確化及び共有のための研修の実施	校内研、会議等において、キャリア教育に関する研修の実施	キャリア教育研修/教育指導の反省		
3 「豊かな心」の育成	重点3: 「安心と信頼にあふれ高め合う」学級づくりと生徒指導の充実(不登校及びいじめの未然防止・解消) ⇒ 合言葉「学級づくり」	3-1 学校・学級風土の「見える化」と「安心と信頼にあふれ、高め合う」学級づくりの推進	県学調(i-check)の「学校風土」が前年より向上+心のアンケート「学校が楽しい」の割合90%以上	「熊本の教師の心がけ10か条」参照/i-check		
		3-2 1人1台端末を活用した「心の健康観察」の推進及び「SOSの出し方に関する教育」の実施【未然防止】	1人1台端末の有効活用+専門家と連携した研修や授業の実施1回以上	生徒指導研修会/各種会議/学校訪問・ミニ訪問		
		3-3 「愛の1・2・3運動+1」の実施及び欠席10日に達する前の専門機関との連携の徹底【初期対応】	不登校・不登校傾向の専門機関との連携(間接的支援または直接的支援)100%	生徒指導研修会/各種会議/学校訪問・ミニ訪問		
		3-4 「いじめはどんな理由があっても許さない」という理念のもと、いじめに向かわない態度・能力を育む教育の推進	心のアンケート「いじめを許さない雰囲気がある」の割合75%以上	学校訪問・ミニ訪問		
		3-5 【道徳教育】互いに授業を見合い、学び合う場の設定 管理職による授業参観、または、管理職の授業参画	1人1回以上道徳授業の実施及び他職員の授業参観	スクールアシスト/学校訪問・ミニ訪問		
		3-6 【道徳教育】道徳科授業力向上手引書及びリーフレット等を活用した授業実践(校内研修の実施)	校内研修の実施及び公開授業の実施	道徳教育パワーアップ地区別研修会		
4 「健やかな体」の育成	重点4: 児童生徒の心身の健康保持増進と体力向上に向けた取組の推進	4-1 新体力テストの分析による課題を踏まえた組織的な体力向上の取組推進	新体力テスト 前年度からの結果向上	体育主任研修/「子供の体力向上取組事例集」参照		
		4-2 児童生徒が「楽しい」と感じる体育・保健体育の授業づくり	「体育・保健体育の授業が楽しい、どちらかというと楽しい」と回答する児童生徒数95%以上	スクールアシスト/学校訪問・ミニ訪問		
		4-3 早寝・早起き・朝ごはんの習慣化とノーメディアデーの実施率向上	心のアンケート「家庭での情報通信機器の利用 平日3時間以上の児童生徒」の割合 前年から減少	学校訪問・ミニ訪問		
		4-4 歯と口の健康に関する指導及び歯治療の家庭への啓発	う歯保有者の治療率 各学校の前年度を上回る	学校訪問・ミニ訪問		
		4-5 災害対応能力や危機管理意識の向上を図る実践的な避難訓練の実施	実践的な避難訓練の実施	学校訪問・ミニ訪問		
5 育5 推啓人 進発権 の教	重点5: 児童生徒及び教職員の人権尊重の意識向上	5-1 人権に関する教職員用デジタル資料等を活用した、教職員の人権問題について基本的認識を深めるための校内研修の実施	年間3回以上実施(オンデマンド研修を含む)	教頭等研修		
		5-2 児童生徒の実態に基づいた、自他の人権を守る実践的な行動力を育むための指導方法等の工夫・改善	県学調(i-check)の⑤思いやり(人間関係構築力)の肯定率が全国及び県平均を上回る	人権教育主任研修/i-check/「人権教育の指導方法等の工夫改善パンフレット」参照		
6 特別 充支 援教 育の	重点6: 特別支援教育における専門機関との連携と学びの適正化	6-1 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の充実(①実態把握と理解による具体的な支援方法の検討②全職員での共通理解と学校全体での支援体制づくり③個別的教育支援計画等の作成及び活用)	左記①～③について校内委員会を年5回以上実施	「特別支援コーディネーターハンドブック」参照		
		6-2 教育委員会及び専門機関と連携した適切な就学指導及び定期的な学びの場の検討	巡回相談員を年1回以上活用	「特別支援教育充実ハンドブック」「就学事務の手引き」参照		
		6-3 本人・保護者との定期的な面談等による合意形成のうえでの「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・実践及び確実な引継ぎ	保護者との面談年3回以上実施	「個別的教育支援計画の作成・活用・引継ぎに係るQ&A」参照		